

第19回

糸賀一雄記念賞授賞式

第3回

糸賀一雄記念未来賞授賞式

授賞式・シンポジウム&記念レセプション

愛を知る人は
愛を与える
ことができる



平成29年
11月2日(木)13:30~

びわ湖ホール小ホール
(滋賀県大津市打出浜15-1)



障害のある人の基本的な人権の尊重を基本に、生涯を通じて障害者などの生きづらさを抱える人の福祉の向上に取り組まれた故糸賀一雄氏の心を受け継ぎ、本人およびその家族が安心して生活できる福祉社会の実現に寄与することを目的として、長年、障害福祉などの分野で顕著な活躍をされている個人・団体には「糸賀一雄記念賞」を、また、先駆的な取り組みをされ、これからの障害福祉を担う個人・団体には「糸賀一雄記念未来賞」を授与するものです。

授賞式にあわせて、記念講演やシンポジウムを開催し、今後の福祉のあり方について、参加者とともに考える機会といたします。

12:30
|
13:30

受付

13:30
|
14:15

授賞式

14:20
|
15:50

受賞者スピーチ

16:00
|
17:00

シンポジウム

17:30
|
19:00

記念レセプション 場所/琵琶湖ホテル

受賞者を囲み、受賞をお祝いします。

《参加対象者》

社会福祉事業関係者、
福祉を学ぶ人、
ボランティア、
その他福祉に関心のある人

《定員》

300名(要事前申込)

明石 洋子氏「社会福祉法人あおぞら共生会 副理事長」
明石 徹之氏「夢見ヶ崎動物公園」

バクバクの会「人工呼吸器とともに生きる」
花戸 貴司氏「東近江市水源寺診療所所長」

「生きづらさを抱える人の支援を考える」
シンポジウム

奥田 知志氏「特定非営利活動法人抱擁 理事長」
寺尾 徹氏「社会福祉法人全国社会福祉協議会 常務理事」
コーディネーター 大熊 由紀子氏「国際医療福祉大学大学院教授」

主催 公益財団法人 糸賀一雄記念財団

後援 厚生労働省、滋賀県、大津市

お申し込み・お問い合わせ (お申し込みの詳細については裏面をご覧ください)

公益財団法人 糸賀一雄記念財団 TEL 077-567-1707

〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138 (県立長寿社会福祉センター内)

FAX 077-567-1708 E-mail itoga@itogazaidan.jp



明石 洋子氏・明石 徹之氏

自閉症についてほとんどわからない時代に、明石親子は、教育や就労における社会の厚い扉を開き、新たな道を切り拓いてきた。幼少期から同年齢児や地域の人々と多く接する機会をつくり「人間として、子どもとして、あたりまえに、家庭で、地域で生きていくこと」を訴え行動し、理解の輪を広げた。親亡きあとも安心して暮らし、ありのままで居られる社会となるよう、今後も権利擁護・虐待防止などの啓発活動に親子で取り組む。母・洋子氏は、1946年埼玉県生まれ。(福)あおぞら共生会副理事長。薬剤師・社会福祉士。(一社)川崎市自閉症協会代表理事。息子・徹之氏は、1972年神奈川県生まれ。川崎市一般職(技能・業務)。夢見ヶ崎動物公園勤務。



奥田 知志氏

1963年 滋賀県生まれ。日本バプテスト連盟東八幡教会牧師。NPO法人抱樸理事長。2001年 九州初のホームレス自立支援施設「自立支援住宅」を開設し、路上生活者に住居や就職先を紹介するなど、これまで約3,000人を支援。ホームレスは「絆を失った人」と捉え、データベースを整えた「伴走型支援」で自立率9割という高い実績を上げている。支援の対象者は、ホームレスに限らず、生きづらさを抱える高齢者や障害者、刑務所などを出所した人など多様で、孤立した障害者や高齢者の見守りつき住宅の提供、貧困の連鎖を断ち切る「子ども・家庭まるごと支援」の拡大などに今後も取り組む。



バクバクの会

～人工呼吸器とともに生きる

1989年 長期にわたり人工呼吸器をつけている子どもたちの安全で快適な入院生活と、生きる喜びを願って院内家族の会として発足。1990年 人工呼吸器をつけていても、どんな障害があっても、ひとりの人間ひとりの子どもとして社会の中で当たり前で生きるためのより良い環境づくりをめざし、全国組織として始動。現在、全国で約500名の会員を擁する。今後とも、人工呼吸器とともに生きていく様々なライフステージや各種制度の活用についての情報提供を行うとともに、既に自立生活を実践している先輩がこれから在宅での自立生活をめざす人々へのアドバイスや相談活動の充実を図っていく。



花戸 貴司氏

1970年 滋賀県生まれ。東近江市永源寺診療所所長。高齢化が進む山間農村地域において「地域包括ケア」よりもさらに広い「地域まるごとケア」を根づかせた。多職種連携会議「チーム永源寺」には、医療職や介護職だけでなく、社協、行政などの専門職や、まちづくり協議会、地域ボランティアグループなど、様々な職種が「顔の見える関係」で参加している。その守備範囲は、高齢者の在宅看取りから、重度の脳性マヒの人の医療福祉連携や人工呼吸器をつけた子どもの保育園での受け入れなどにも及んでいる。今後は、医療的ケアが必要な障害者の在宅医療や小児在宅医療の体制整備に取り組む。

平成29年11月2日(木) 第19回糸賀一雄記念賞・第3回糸賀一雄記念未来賞
授賞式および記念レセプション 参加申込書

下記にご記入の上、FAX、メール、郵送いずれかの方法により10月30日(月)までにお申し込みください。

	ご氏名	授賞式	レセプション (参加費 7,000 円)	所属
例	糸賀 一雄	○	○	社会福祉法人いとがの家
1				
2				
3				
〈通信欄〉	※車いすスペースをご利用の方や情報保障を必要とされる方は、チェック(☑)してください。 <input type="checkbox"/> 車いすで来場する(名) <input type="checkbox"/> 手話通訳 <input type="checkbox"/> 要約筆記 <input type="checkbox"/> 磁気テープ その他主催者への連絡事項			

- 授賞式は、13:30開会 場所は、びわ湖ホール小ホールです。
- レセプションの参加費7,000円は、当日受付でお支払いください。
レセプションは17:30~19:00 会場は、琵琶湖ホテル 瑠璃の間です。
- 申込受付完了の連絡は致しません。当日受付で、お名前をお申し出ください。
- 申込書に記載された個人情報、本事業での利用目的以外には使用しません。

申込み 郵送 〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138 (県立長寿社会福祉センター内)
公益財団法人 糸賀一雄記念財団 あて
FAX 077-567-1708 E-mail itoga@itogazaidan.jp
問合せ TEL 077-567-1707 (平日9~17時) 財団事務局:瀬古・谷村・浅井